

松風平和

令和4年度
那覇市立松島中学校 学校便り
[No. 32]
令和4年12月20日(火)
発行責任者 校長 喜屋武浩司

「沖縄県指定校研究発表会、成功裏に終わりました！」

去る12月13日(火)、本校が今年度、沖縄県教委委員会から指定研究を受けている「SDGs達成に向けた教育実践」の研究発表会を開催しました。SDGsは、世界共通の17の目標(ゴール)で構成され、環境・社会・経済のバランスを保ち、「誰一人取り残さない」を合い言葉に、持続可能な社会づくりを目指すもので、学習指導要領においても「持続可能な社会の創り手」を育成することが求められています。

当日は、那覇地区の小中学校のみならず、遠くは宮古島市や石垣市、島尻地区や中頭地区の学校など、那覇市教育委員会からの来賓を含め50名近くの参観者がありました。

公開授業として、1年生全学級(授業者:外部講師及び学級担任)で総合的な学習の時間「共に歩む～持続可能な社会～」と題して、地球環境を守るためにどのような取組ができるかを考える授業、2年4組では学級活動(授業者:平安山英樹教諭)で「私からはじまるSDGs」と題して、日常的にできるアクションプランを各自が考え発表する授業、また、3年5組では社会科公民(授業者:高良直人教諭)で、「世界の貧困や飢餓問題に対して、身近な取組として何ができるか」を考え発表する授業などを公開しました。

授業後の研究発表では、「全体研究及び教科等」「道徳及び特活」「総合的な学習の時間」の3つの分野で発表し、本校が学校教育目標で目指す「未来社会を切り拓く生徒の育成」にどのように取り組んできたかを発表しました。発表後には、沖縄県教育庁生涯学習振興課の島袋里映社会教育主事及び那覇教育事務所の諸喜田繁社会教育主事から、本校研究に対する指導助言とたくさんのお褒めのお言葉をいただきました。2月末までに、実践をまとめて「研究紀要」として報告することになっています。

今後も保護者及び地域の皆様のご理解とご支援をいただき、「持続可能な社会の創り手」の育成に全教職員あげて取り組んでいきたいと思います。

